

Week of October 25, 2026 - The Role of the Law & the Commandments　　Small Group Study 19

知り合う

ダイエットや断食をしていて、食べてはいけないとされているまさにその食べ物を、急に無性に食べたくなったことはありますか？厳しいルールがあることで、その特定の食べ物に対する意識はどのように変わりましたか？

聖句　ローマの信徒への手紙 7:7-13（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

7 では、何と言うべきでしょうか。律法は罪なのか。決してそうではない。だが、律法によらなければ、私は罪を知らなかったでしょう。律法が「貪るな」と言わなかったら、私は貪りを知らなかったでしょう。8 しかし、罪は戒めによって機会を捉え、私の内にあらゆる貪りを起こしました。律法がなければ罪は死んでいたのです。9 私は、かつては律法なしに生きていました。しかし、戒めが来たとき、罪が生き返り、10 私は死にました。命に導くはずの戒めが、私にとっては死に導くものとなりました。11 罪が戒めによって機会を捉え、私を欺き、その戒めによって私を殺したのです。12 実際、律法そのものは聖なるものであり、戒めも聖なるもの、正しいもの、善いものです。13 それでは、善いものが私に死をもたらすものとなったのでしょうか。決してそうではない。罪は罪として現れるために、善いものによって私に死をもたらしました。こうして、罪は戒めによってますます罪深いものとなりました。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 7-8節によると、律法は罪ではありませんが、私たちが罪とは何かを知る助けとなります。私たちの救いはすでに確かな無償の贈り物ですが、神様の戒めが私たちの心の隠れた欲望を明らかにしてくれることが、依然として有益であるのはなぜでしょうか。

2. 9-11節でパウロは、律法を理解する前は生きていると感じていたが、戒めによって罪が生き返り、自分を殺したと述べています。律法がただ死をもたらすだけで私たちを救うことができないのだとしたら、このことは私たちが自分の良い行いではなく、完全にイエス様に頼らなければならないということをどのように証明しているでしょうか。

3. 12節を見ると、パウロは律法そのものは聖なるものであり、正しく、善いものであると記しています。律法は神様の完全なご性質を示していますが、ただ自力で頑張るだけでは決して聖なる者になれないということを、律法はどのように気づかせてくれるでしょうか。

4. 13節に基づいて、律法は私たちが自分の罪を完全に認識できるように与えられました。ルールに従うことが自分には全く不可能だと気づくことは、私たちが自然に変えられるために聖霊にゆだねる上で、実際にどのように役立つでしょうか。

分かち合い

話し合い　その１

武牧師は、神様の戒めに対して、それを無視するか、他人を裁くか、あるいはイエス様を必要とする自分自身の深い必要性を認めるか、という3つの反応ができると教えられました。言い訳をするのをやめて、自分が変わるためには神様の助けが必要だとついに認めることができた時の体験を分かち合ってください。

話し合い　その2

武牧師は、「貪るな」という戒めを理解するまで、自分はすべてのルールを守っていると思っていたノンクリスチャンの男性について触れました。表面的な行動をコントロールするよりも、心に隠れた欲望をコントロールする方がはるかに難しいのはなぜだと思いますか。

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。